

事務事業名		交通安全施設整備事業		所属部	防災部	所属課	防災安全課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	防災安全G	課長名	奥田 清	
	施策名	(18)交通安全の推進		担当者名	田部 雄二	電話番号	0854-40-1027 (内線) 2351	
	目的:対象	市民	意図	交通事故に遭わない、起こさない。				
	基本事業名	(053)交通安全施設の整備		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的:対象	市民	意図	道路を安全に通行する。				交通安全施設整備事業	交通安全施設整備事業
				011003	03	中事業	交通安全施設整備事業	
				054501	01	中事業	交通安全施設整備事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (18年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
ガードレール、カーブミラー、区画線など道路環境の維持・改善を行う事業である。交通安全対策特別交付金を基に、危機管理室で一括予算化、建設部建設工務課へ所管替えし、地域の要望等に合わせた予算執行を行っている。	

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・予算確保、配分 ・打合せ会の開催と現場確認 ・通学路点検に伴う現地確認等	元年度計画(元年度に計画する主な活動) ・予算確保、配分 ・打合せ会の開催と現場確認 ・通学路点検に伴う現地確認等				
② 活動指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	カーブミラー設置箇所数	箇所	23	34	21	20
イ	ガードレール・柵設置所数	箇所・m	2	0	6・65	5
ウ	区画線等設置箇所数	箇所・m	3	2	2・1768	5
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	雲南市民		ア	市民	人	38,506	37,794	37,012	37,496
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
交通安全施設を整備し、道路の交通安全環境を向上させる。		ア	交通事故発生件数	件	933	966	968	950	
		イ	交通事故による死傷者数(暦年)(死者数・負傷者数)	人	1・56	0・56	2・44	0・50	
		ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
交通安全対策特別交付金を基に、危機管理室から建設部建設工務課へ予算を移管し執行。 【H30年度実績】 ・カーブミラー 2,977千円 ・防護柵、ガードレール 1,096千円 ・区画線 1,080千円 ・標識 246千円		事業費	財源内訳	千円				
			国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	5,399	5,386	5,399	5,400
			事業費計(A)	千円	5,399	5,386	5,399	5,400
		人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1	
			延べ業務時間	時間	100	350	350	
			人件費計(B)	千円	397	1,427	1,516	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	5,796	6,813	6,915	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
交通安全施設整備の設置・改善要望(陳情、地域要望、交安協・警察署への要望等)は多く、近年では、通学路の安全確保に関心が高まっている。また、児童や歩行者が巻き込まれる事故や、高齢者が当事者となる事故が多発している。	市の予算としては同額を維持。関係部局、団体との連絡調整。平成29年度より総務課から危機管理室へ移管された。	地域要望としては、カーブミラー設置や横断歩道設置等の要望が多く寄せられる。近年は通学路の安全確保に係る要望が増えてきている。

事務事業名	交通安全施設整備事業	所属部	防災部	所属課	防災安全課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	限られた予算であるが、計画的に対応していくことにより危険箇所を解消し、事故発生件数の抑制が見込まれる。市道等の道路整備事業と連携調整を深めることで更に効率化が高まる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	交通安全施設の整備が滞り、道路通行の安全確保に支障が生じる。交通安全対策交付金は一般財源扱いとなっているが、使途について追跡調査があり、事業を廃止することはできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 → <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	(具体的な手段や類似事業名) 理由	交通安全施設に限った交付金であり、交通安全施設単独整備事業は当事業のみである。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	要望が多く、削減は困難である。施設の新設よりも既設施設の修繕が多く、当該年度の予算だけでは対応しきれしていない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	総合センター縮小により平成28年度より本庁で一括管理となったが、危機管理室、建設総務課、建設工務課など関係課との調整が増え、人件費は増加傾向にある。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	地域要望や道路パトロール等により把握した案件について随時対応している。実施の可否については、現地確認の上必要性を勘案し対応しているが、市全体としては地域により偏りがある。(既設の交通安全施設箇所数が地域により違いがある。)
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	総合センター縮小後において、交通安全施設の要望を付けて地元協議のうえ、道路管理者である建設部と連携を図りながら事業を実施している。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>総合センター(事業管理課)縮小後、防災安全課が統括し、建設総務課(道路管理)、建設工務課(工事施工)と役割分担しながら対応しており、円滑な調整、実施に向け取り組んでいく。近年、児童や歩行者が被害者となる事故が多発し、通学路の安全確保に係る要望も多いことから、教育委員会とも連携し危険箇所解消に努める。</p>																			